



立野

練馬区立立野小学校

平成30年 12月号

<http://www.tateno-e.nerima-kyo.ed.jp>

10年ひと昔…もっと昔？

教務主幹 中野 智美

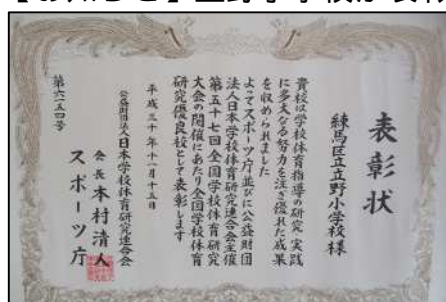
いきなり私事で恐縮ですが、私は立野小に勤務して8年目になりました。街を歩いていると、卒業生やその保護者の方を見かけ、「成長したな」「たくましくなったな」と感心させられることも多くなりました。その度に「私は立野小に勤務しているこの期間で、変わったことはなんだろうか」と考えさせられています。

この間に変わったことといえば、スマホで用事を済ませることが増えました。通勤でバスに乗っている間にほしかった物を注文したり、夕食のレシピを検索したり、便利に使っています。映画館のチケットや航空券を予約したらスマホにQRコードが届き、そのままスマホをかざせば大丈夫。お店のポイントカードも、アプリのバーコードを読み取ってもらえばポイントが貯められるし、電子マネーも指紋認証すればクレジットカードからチャージできるし、時間や場所に縛られずにいろいろなことができるようになってきました。本当に便利な世の中になりました。また、たくさんの海外からのお客さんが、ショッピングや食事を楽しんでいる様子を見ることも増えてきました。この間新幹線に乗っていたら、私の周りに座っている人がみんな日本語以外を話していましたが、そんなことも当たり前の光景になっています。

今から約5年前、オックスフォード大学のオズボーン准教授らが書かれた論文「雇用の未来」が発表され、衝撃を受けた方も多いかと思います。アメリカの702の職種のうち、今後10～20年程度で総雇用者の約47%の仕事が自動化される、という内容です。日本とアメリカとでは文化が違いますので、全てを当てはめるわけにはいきませんが、なくなる仕事の一例として「レジ係」「電話オペレーター」「簿記、会計、監査の事務員」などが挙げられています。そういえば「最近セルフレジのスーパーが増えたな」「自動音声で電話アンケートがかかってくる」など、自分の身の回りを振り返ってみても、変化の方向性として間違っていないだろうと予測できます。また、サービス業を中心として、日本語を母語としない方が働いている姿も多く見かけます。会社の中でも多言語が飛び交い、みんなで話すときは英語を使うという話も耳に入ってきます。

さて、人によって違うと思いますが、今立野小に通っている子供たちが社会に出るまで、大体10年かかります。学校に通っている時期は「社会に出るための準備期間」と捉えると、その10年後はどんな社会になっているのでしょうか。正確に予測できる人は、世界中探しても皆無だと思います。しかし確実に言えるのは、今立野小に通っている子供たちが社会に出て、そこで自分の能力を発揮して生きていかなければならないということです。そのために、子供たちに身に付けさせていかなければならない資質・能力はどんなものなのでしょう。そして今、私たち大人が子供たちにできることはどんなことなのでしょう。目の前にある現実の忙しさに振り回されている間に、社会はどんどん変わっています。学校は、そして私は、変化に取り残されていないだろうか、今の学ばせ方で大丈夫だろうか、長い目で見ながら毎日の現実と向かい合っていきたいものです。昔の価値観をもった子供たちではなく、変化に柔軟に対応できる子供たちを社会に送り出していきたいです。

【お知らせ】立野小学校が表彰されました



平成29年度・30年度の立野小学校の学習活動（体育・健康教育）が高く評価され、第57回全国学校体育研究大会の全国学校体育研究優良校として表彰されました。

11月15日（木）当日、校長が代表として授賞式に参加しました。26日（月）の全校朝会で、立野小の全員が頑張ったから表彰されたのだと校長が伝え、山岸主任教諭が代表で受け取りました。校長室前に掲示しております。

12月の行事予定

1	土	
2	日	
3	月	連合音楽鑑賞教室(5)
4	火	M 5時間授業 能楽鑑賞教室(6) クラブ活動
5	水	M 避難訓練
6	木	たてわり 展覧会準備(6)
7	金	読みママ 社会科見学(5)
8	土	土曜授業日 もちつき大会
9	日	
10	月	
11	火	M
12	水	M
13	木	M 展覧会
14	金	M 展覧会
15	土	展覧会 たてわり造形
16	日	
17	月	振替休業日
18	火	M 展覧会片付け(5)
19	水	M 保護者会(4.5.6)
20	木	M 社会科見学(6) 保護者会(1.2.3)
21	金	読みママ 5時間授業
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休業日
25	火	終業式 特別時程 給食終 大掃除
26	水	冬季休業日始

1月上旬の主な予定

8	火	水曜時程 始業式 給食始 4時間授業 委員会活動(5校時)
9	水	M 測定(6年)
10	木	児童集会 測定(5年)
11	金	M 測定(4年)
12	土	土曜授業日 校内書初め展始

【展覧会】

3年に一度の展覧会が巡ってきます。12/13、14、15の3日間は、体育館が美術館になります。1,2,3年生は、初めての展覧会に「どんな感じかな。」「楽しみな。」という期待感をもち活動しています。4、5、6年生は、つくることから展示までイメージして「こんな風に飾りたい。」という思いをもって活動しています。5、6年生は、展覧会実行委員が、体育館を飾る造形装飾にも中心になり、ダイナミックな空間アートに取り組んでいます。どの学年も一人3作品、その他に共同でつくるもの、家庭科、たてわり造形もあります。日常の造形活動を展示し、鑑賞することで、子供たちが友達の表現に出会ったり、新しい価値に気付いたりして、自分の世界を広げ、より豊かに育ってくれる機会にしていきたいです。保護者、地域の方も参観して子供の思いを感じていただけたら嬉しいです。

図工専科 田中真由美

【もちつき大会】12/8

お米がとれたことを、神(先祖)に感謝し、来年も豊作であることを願うために行われた、日本の伝統的な行事である「もちつき」。縁起物でもある餅です。

立野小の子供たちも、杵(きね)と臼(うす)による「もちつき」という伝統文化に触れるとともに、地域の皆様と関わり、地域を愛する心を養いたいとの願いから、立野町会・元関町一丁目町会・青少年委員・立野小PTA・立野小学校応援団・立野小学校の共催で実施いたします。

当日は、土曜授業日です。お子さんの学習の様子とともに「もちつき」の様子もご参観ください。なお、詳しくは配布いたしました「もちつき大会のお知らせ」をお読みください。雨天時は、参観はありません。

担当 副校長 池田 吉弘

教室の窓から



6年1組
担任 岡部 竜

学級目標にある“よく笑おう”を目指し、今までに数々の係活動が1組を盛り上げてきました。アイデアは全て子供たちが考えており、「特技」「クラス大会」などユニークで魅力ある活動によって皆で笑いを共有することが多いです。このように楽しい時間や学校生活は自分たち自身で創れるという経験値をもっていることがこの先の将来に必ず生きてくると私は確信しています。

この先というと、気が付けば卒業まであと4か月。1組では6年間過ごした仲間たちと一緒に過ごせる限られた時間を有意義に過ごしてほしいという私の願いから「卒業式まであと 日カレンダー」を作成しています。1人2つ担当するため、11月29日の「あと72日」からスタートです。卒業というゴールを考えるとセンチメンタルな気持ちにもなりますが、ポジティブにこの日数をむだにせず皆で楽しもうと捉えてほしいです。